

平成27年 第2回臨時会

館林衛生施設組合議会会議録

平成27年 7月29日開会

平成27年 7月29日閉会

館林衛生施設組合

平成27年館林衛生施設組合議会第2回臨時会会議録目次

議事日程	2
本日の会議に付した事件	2
出席議員	3
説明のために出席した者	3
事務局職員出席者	3
開会及び開議	4
会期の決定	4
会議録署名議員の指名	4
議案第10号	4
管理者の挨拶	9
閉会	10
署名議員	11

平成27年館林衛生施設組合議会第2回臨時会会議録

平成27年7月29日(水曜日)

館林市役所 全員協議会室

議 事 日 程

平成27年7月29日午前10時30分開議

- 第1 会期の決定
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 議案第10号 いたくらリサイクルセンター(仮称)建設工事請負契約の締結について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（9名）

1 番	町井 猛 君	2 番	小林 信 君
3 番	渡辺 充 徳 君	4 番	青木 幸 雄 君
5 番	小森谷 幸 雄 君	6 番	荒井 英 世 君
8 番	田口 晴 美 君	9 番	小林 正 明 君
10 番	野村 智 一 君		

欠席議員（1名）

7 番 野本 健 治 君

説明のために出席した者

管 理 者(館林市長)	安樂岡 一 雄 君
副管理者(板倉町長)	栗 原 実 君
副管理者(明和町長)	富 塚 基 輔 君
副管理者(千代田町長)	大 谷 直 之 君
副管理者(館林市副市長)	金井田 好 勇 君
会計管理者	谷田貝 勝 君
事務局長	小 川 清 治 君
施設整備係長	野 村 浩 一 君

事務局職員出席者

書 記	奥 山 浩 康	書 記	青 木 裕 二
書 記	多 田 知 子	書 記	武 井 沙 織
書 記	橋 本 怜 生	書 記	青 木 英 世
書 記	砂 賀 大 輔		

第 1 開会及び開議

(平成27年7月29日午前10時30分開会)

○議長(渡辺充徳君) ただいまの出席議員は9名であります。定足数に達しておりますので、告示第4号をもって招集されました平成27年館林衛生施設組合議会第2回臨時会は成立いたしました。

これより開会し、直ちに会議を開きます。

第 2 会期の決定

○議長(渡辺充徳君) 日程第1、会期の決定をいたします。

本臨時会の会期を本日1日といたしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渡辺充徳君) ご異議ないようですから、さよう決定いたしました。

第 3 会議録署名議員の指名

○議長(渡辺充徳君) 次に、日程第2、会議録署名議員の指名をいたします。

会議録署名議員に、6番、荒井英世君、8番、田口晴美君を指名いたします。

第 4 議案第10号

○議長(渡辺充徳君) 次に、日程第3、議案第10号 いたくらリサイクルセンター(仮称)建設工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

管理者、安楽岡一雄君。

○管理者(安楽岡一雄君) 議案第10号 いたくらリサイクルセンター(仮称)建設工事請負契約の締結について申し上げます。

本案は、循環型社会形成推進地域計画に基づき、館林市、板倉町及び明和町から排出される不燃ごみ・不燃性粗大ごみを適正に処分するため、板倉町内にリサイクルセンターを設置しようとするものでございます。

施設の主な内容について申し上げますと、処理方式は破碎方式とし、ごみ破碎機の型式は、たて型高速回転破碎機で、1日当たり5トンの処理能力を有する中間処理施設でございます。

このリサイクルセンターの建設工事請負契約の相手方につきましては、公募型プロポーザル方式により受託者として特定されました、極東開発工業株式会社と7億5,600万円で当該契約を締結しようとするものでございます。

以上、よろしくご審議の上、原案のとおり議決くださるようお願いを申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（渡辺充徳君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。

2番、小林信君。

○2番（小林信君） それでは、お尋ねします。

まず、今回の請負契約金額 7 億 5,600 万円ですが、予定価格に対する落札率は何の程度なのかお尋ねします。

次に、極東開発工業株式会社が過去に公共事業としての実績はどのようなものがあるのか。

また今後、資材高騰というような問題になったら、契約後に資材高騰によって、追加的な予算ということが可能性があるのかどうかお尋ねします。

次に、附属資料の中で技術提案の評価点及び評価結果というところがありますが、この評価点でいきますと、本当に極東開発とメタウォーターでは、ほんの僅かな評価点であります。この評価点の内容というものはどういうものかお尋ねします。

○議長（渡辺充徳君） 事務局長、小川清治君。

○事務局長（小川清治君） ご質問にお答えいたします。

まず最初に、請負金額についての予定価格に対する落札率は何のご質問でございますが、今回、随意契約のため予定価格については公表しておりません。ただし、公募型プロポーザル方式におけます工事費限度額というのはございますので、これを基に落札率を計算いたしますと、約 82%となっております。

また、極東開発の実績でございますけれども、平成 26 年度末における全国自治体施設の実績でございますが、粗大ゴミ処理施設とリサイクルセンターを合わせて 50 件の建設実績を有してございます。

それと 3 番目の、昨今の資材高騰及び人件費高騰の影響ということでございますけれども、資材や人件費について少しずつではございますが、現在も上昇はしております。ただし、今回の契約額につきましてはこのようなことも含めた金額であるというふうに私どもは理解しております。

4 番目の評価点にあまり差がないことについての評価の基準ということでございますけれども、プロポーザル評価委員会におきまして決定いたしました評価基準というものにに基づきまして、8 名の評価委員にて評価を実施いたしました。評価の内容でございますが、3R の推進に貢献できる施設であるか、周辺環境における環境負荷の低減が図れる施設であるか、安全で安定したごみ処理の推進を図れる施設であるか、また経済的に優れた施設であるかの 4 点についてご提案をいただいたほか、工程、工事管理、見積額、工事責任者の経歴、会社としての施工実績及びプレゼンテーションとヒアリングの内容について各評価委員が評価を行いまして、8 名の合計点を評価として選定いたしました。

以上でございます。

○議長（渡辺充徳君） 2 番、小林信君。

○2番(小林信君) 公共事業の実績が、平成26年度末で50件あるということで、かなり公共事業の実績があるというふうに評価することができます。

それと資材高騰等も勘案して、今回の契約金額になったということで、今後資材高騰についての不安はないということで理解してよろしいかお尋ねいたします。

それから、評価点についてであります。このメタウォーター株式会社という会社は、どちらかといえば水循環、下水道などの処理を専門に扱っている業者かなと思うので、極東開発工業と比較をすると、やはり取り扱っている事業の内容が違っているのではないかなということちょっとインターネットで見るとそういう感じを受けたわけですが、極東開発とメタウォーターとの違いは、今回の中でどのように捉えていたのかお尋ねいたします。

○議長(渡辺充徳君) 事務局長、小川清治君。

○事務局長(小川清治君) 質問にお答えします。

資材高騰及び人件費高騰の今後の影響ということなんですけれども、契約書に記載がございます「工事完成までに賃金または物価の変動があった場合において、残工事費の1,000分の15を超える額について、契約額の変更に応じなければならない」と規定されておりますので、この該当があった場合には、対応が必要であるというふうに私どもは考えております。

また、極東開発工業とメタウォーターの差でございますけれども、双方ともリサイクルセンターの実績はございますので、今回プロポーザルという形で私どもを受けたわけでございますけれども、それぞれ良い点悪い点がございまして、具体的に会社の違いというのはちょっとここでは、すみません、細かく申し上げることはできないのですけれども、いずれの会社が特定されたとしても、私どもの考えているリサイクルセンターは適切なものを建設していただけるということを踏まえて、2社の提案を受けてというふうに進めたわけでございます。

以上です。

○議長(渡辺充徳君) ほかに。

5番、小森谷幸雄君。

○5番(小森谷幸雄君) 多少前質問者と重複する点があるかと思いますが、ご容赦願いたいというふうに思います。

4点ほどございますので、順次申し上げます。

一つ目でございますけれども、プロポーザルということで、こちらの附属資料には特定と次点という方で2社が標記されているわけでございますが、当初は何社ありまして、最終的に何社が参加されたのか、その辺についてお伺いをいたします。

また、先ほど評価委員が8名ということでございましたんですが、非常に通常の建設と違いまして、特殊な施工ということになります。そういった点で評価委員8名の中身という失礼ですが、有識者なのか一般的なのか、そういった点で、こういった形でこの評価委員が選定され評価されたのか、その辺の考え方についてお尋ねをします。

それと先ほどの質問とダブりますけれども、24点差ということで、ほとんど僅差でございます。8,000点の中で、5,300点前後ということでございますが、点数的には開きがあったということで、極東開発さんが選定をされたというふうな形になりますが、その中でも、最大の極東開発さんが選ばれた、点数的には24点差あるわけでございますけれども、基本的には最大のポイントはどなたのところであったのかお伺いをしたいというふうに思っております。

それから4番目でございますけれども、基本的には関西の企業ということでございます。東京にも本部があるような形になっておりますが、極東開発さんが受注をされた暁にはですね、地元の企業を育成するという観点から、今回はジョイント方式はとっておりませんが、金額が少のうございますので、そういった点で地元企業との関係について、今後考え方がどのような形で地元企業を育成するというような中で参加させていくのか、その辺についてお尋ねを申し上げたいというふうに思います。

○議長(渡辺充徳君) 事務局長、小川清治君。

○事務局長(小川清治君) ご質問にお答えします。

最初に、プロポーザルについてのお尋ねでございますが、参加意思表明書提出期間中に7社に資料のほうは交付してございます。しかしながら、最終的な提案書の提出は3社でございました。このうち、3社のうち1社につきましては、工事費限度額を超えた見積額が記載してございましたので、プロポーザルの実施要領に基づきまして、失格という形で、2次評価に進んだのは極東開発工業とメタウォーターの2社でございます。

それと、2番目のお尋ねですが、8名のメンバーにつきまして、この中には2名の有識者を含めて、あと構成市町の行政関係者、それと私どもの組合の職員を含めて8名という形で構成しております。有識者につきましては、公益社団法人全国都市清掃会議の技術部長さん、それと一般財団法人日本環境衛生センターの常務理事さんにこちらプロポーザルの評価について参加して、評価のほういただいております。

3番目のお尋ねの、最大の特定となったポイントでございますけれども、特定された極東開発につきましては、見積額がやはり特に優れた提案でございました。その他災害対応や地元貢献にも優れた提案がございましたので、その辺が得点になった理由でございます。

また最後の地元貢献のことについてでございますけれども、こちら極東開発さんから提出された提案書に、関心表明書という形で地元16社からの関心表明書が付いておりました。土木建築工事から始めまして、クレーン作業、内装、リース、電気、それとコンクリートの供給、または宿泊施設、燃料の供給、飲食宿泊サービスなど、16社の関心表明書が付いておりましたので、今後につきましては、地元の企業と協力して、建設のほうは進めるというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長(渡辺充徳君) ほかに。

4番、青木幸雄君。

○4番(青木幸雄君) 処理能力についてちょっと質問させていただきます。

5トンという量は、1市2町の品物で間に合うかどうか。私の簡単な考えだと倍の10トンくらいないと全然足りないのではないかなという、簡単な素朴な質問。私も車に乗るんですが、小さい車でも、1台分が5トンくらいの車なんですよ。1台でも5トン。私が乗っている車だって、5トンくらい、いつもあれなんで。1日に1台分くらいしか処理できないのでは、後になってから足らなかったということがないのかどうか、質問させていただきます。

○議長(渡辺充徳君) 事務局長、小川清治君。

○事務局長(小川清治君) 質問にお答えいたします。

今回、整備いたします処理能力5トンの破砕機でございますけれども、これはその前に人力選別という大事な工程を経て、最終的にどうしても破砕しなくてはならないものを1日5トンの破砕をするというふうな考えで設定したものでございます。リサイクルセンターに運び込まれる不燃ごみ及び不燃性粗大ごみについてはかなりの量がございまして、その中から本当に破砕しなくてはいけないものだけを人力が選別いたしまして、その他、そのまま資源化できるものは人力選別で資源化、それとビン、カン、ペットボトルのように、資源化できるものは資源化として抜いて、最終的にどうしても壊して、その中から鉄とアルミを分別しなくちゃならないもののみ破砕することで、今回設定した能力が1日当たり5トンというような破砕機で設定したわけでございます。

以上です。

○議長(渡辺充徳君) 4番、青木幸雄君。

○4番(青木幸雄君) では、処理能力については、間に合うということで理解しましたので。

○議長(渡辺充徳君) ほかに。

6番、荒井英世君。

○6番(荒井英世君) 一点だけ、質問いたします。

私の認識でいきますと、当初の基本計画の時点で、概算費用ですけれども、約6億4,000万円という数字があったと思うんですけれども、今回、消費税入れまして、7億5,600万円、若干増えてはいるんですけれども、その辺の理由ですが、リサイクルセンターについては途中で、建設場所、それが変更されました。そういった部分も理由にあるのか。要するに、以前の基本計画の段階では、既存の施設を使うとありましたよね。それが今回、全く使えないということですので、その辺のちょっと理由がありましたら、お聞かせ願えますか。

○議長(渡辺充徳君) 事務局長、小川清治君。

○事務局長(小川清治君) 質問にお答えいたします。

当初の構想の中では、こういった金額が出ていたと思うんですけれども、やはり昨今の資材の高騰及び人件費の高騰により、現在の契約額でございます7億5,600万円という形に今回落ち着いたかなというふうに考えております。

場所が変わったことによる影響はほとんどないものというふうに考えております。

○議長(渡辺充徳君) ほかに。

9番、小林正明君。

○9番(小林正明君) リサイクルセンター建設、非常に結構なことでございます。

それで、ただですね、建物造って、操業するとそれに関して非常に高額な維持費がかかるわけでございます。それで一つ二つ、お尋ねしたいんですが、年間のリサイクル資源の絶対量は、どれくらいの量になりますか。これ、鉄、アルミ、銅等が考えられますが、そしてまたそれを販売したとしたら、推測される販売金額はどれくらい等になりますか。雑ばくな質問で恐縮ですが、ご回答お願いしたいと思います。

○議長(渡辺充徳君) 事務局長、小川清治君。

○事務局長(小川清治君) すみません、手持ちにちょっと詳しい資料はないんですけども、5トンのうち、鉄類が1.93トン、約2トン鉄が出てまいります。アルミが0.5トン、その他が不燃物、可燃物という形になりますけれども。鉄につきましては、現在、破碎鉄くずという形で市の清掃センターで契約している金額なんですけれども、キロ当たり8.6円という形で処分させていただいておりますので、金額的に申し上げますと、約2トンをキロ8.6円で計算しますと、17,200円というのが1日当たりの売却益になるかなというふうに考えております。

以上です。

(「アルミは。」という声あり)

○事務局長(小川清治君) アルミにつきましては、0.53トンに、キロ単価が111円でございますので、31,200円程度かなというふうに考えております。

○議長(渡辺充徳君) ほかに。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渡辺充徳君) 質疑を打ち切ります。

討論を行います。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渡辺充徳君) 討論を打ち切ります。

本案は、組合規約第7条の2の規定により、特別議決として採決いたします。

議案10号を可決することに賛成の方は、挙手を願います。

(挙手全員)

○議長(渡辺充徳君) 挙手全員。

よって、議案第10号は可決いたしました。

第 5 管理者の挨拶

○議長(渡辺充徳君) 以上で、本日の議事日程の全部を終了いたしました。

この際、管理者からご挨拶したい旨、申し出がありましたので、これを許します。

管理者、安楽岡一雄君。

○管理者(安樂岡一雄君) 本日は、館林衛生施設組合議会第2回臨時会を開催いたしましたところ、議員の皆様にはお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。

また、提案いたしました議案につきまして、原案どおり議決いただき厚くお礼申し上げます。

本臨時会では、板倉町に建設を行いますリサイクルセンターの建設工事に関する工事請負契約の締結について審議をお願いいたしました。

本日、可決していただきました建設工事につきましては、プロポーザル時の技術提案を基に、今後、詳細な施設の実施設計を行った上で、ごみ焼却施設と同じとなります平成28年度末の施設完成に向けて建設工事に着手してまいりたいと思います。

今後におきましても、地元の方々から建設工事に対する理解と協力が得られるよう、引き続き、地元への説明責任をしっかりと果たすとともに、安全性に配慮しながら、着実に建設工事を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、夏本番を迎え暑さ厳しい日が続きますが、議員の皆様におかれましては、どうか健康に十分ご留意いただき、引き続き、ご指導、ご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げます、お礼の挨拶に代えさせていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。

第 6 閉 会

○議長(渡辺充徳君) 以上をもちまして、館林衛生施設組合議会第2回臨時会を閉会いたします。

(午前10時55分閉会)

平成27年 月 日

議 長 渡 辺 充 徳

議 員 荒 井 英 世

議 員 田 口 晴 美